

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 3 区分
【発行日】平成 19 年 6 月 21 日 (2007.6.21)

【公表番号】特表 2007-503660 (P2007-503660A)
【公表日】平成 19 年 2 月 22 日 (2007.2.22)
【年通号数】公開・登録公報 2007-007
【出願番号】特願 2006-533134 (P2006-533134)
【国際特許分類】

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 13/00 6 1 0 Q

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 5 月 2 日 (2007.5.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電子メール・メッセージを受信するための手段と、
前記電子メール・メッセージのコンテンツに基づいて、前記電子メール・メッセージを特徴付けるデータを生成するための手段と、
前記電子メール・メッセージを特徴付ける前記データを、複数のスパム・メッセージを特徴付けるデータのセットと比較するための手段と、
前記電子メール・メッセージを特徴付ける前記データと、前記複数のスパム・メッセージを特徴付けるデータの前記セット内のいずれかのデータ項目の間の類似が、閾値を超えるかどうかを判定するための手段とを含む装置。

【請求項 2】

新たなスパム・メッセージを特徴付けるデータを受け取るための手段と、
前記受け取られたデータを格納するデータベースとをさらに含む請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

スパム・メッセージを受信するための手段と、
前記スパム・メッセージのコンテンツに基づいて、前記スパム・メッセージを特徴付けるデータを生成するための手段と、
前記スパム・メッセージに類似する着信メッセージを探し出すのに後に使用される、前記スパム・メッセージを特徴付ける前記データを、サーバに転送するための手段とを含む装置。

【請求項 4】

雑音の存在に関して前記スパム・メッセージを評価するための手段と、
前記スパム・メッセージのコンテンツを変更して、前記雑音を低減させるための手段とをさらに含む請求項 3 に記載の装置。

【請求項 5】

雑音の前記存在に関して前記スパム・メッセージを評価するための手段は、フォーマット・データ、数値文字参照、文字エンティティ参照、事前定義された URL データの少なくともいずれかを検出するための手段を含む請求項 3 に記載の装置。

【請求項 6】

処理システム上で実行されると、前記処理システムが、
電子メール・メッセージを受信すること、
前記電子メール・メッセージのコンテンツに基づいて、前記電子メール・メッセージを特徴付けるデータを生成すること、
前記電子メール・メッセージを特徴付ける前記データを、複数のスパム・メッセージを特徴付けるデータのセットと比較すること、
前記電子メール・メッセージを特徴付ける前記データと、前記複数のスパム・メッセージを特徴付けるデータの前記セット内のいずれかのデータ項目の間の類似が、閾値を超えるかどうかを判定することを含む方法を実行するようにさせる実行可能命令を含むコンピュータ可読媒体。

【請求項 7】

前記方法は、
新たなスパム・メッセージを特徴付けるデータを受け取ること、
前記受け取られたデータをデータベースの中に格納することをさらに含む請求項 6 に記載のコンピュータ可読媒体。

【請求項 8】

前記方法は、
前記電子メール・メッセージを受信すると、スパム・フィルタ処理を回避するために追加された雑音の存在に関して、前記電子メール・メッセージを評価すること、
前記電子メール・メッセージのコンテンツを変更して、前記雑音を低減させることをさらに含む請求項 6 に記載のコンピュータ可読媒体。

【請求項 9】

処理システム上で実行されると、前記処理システムが、
スパム・メッセージを受信すること、
前記スパム・メッセージのコンテンツに基づいて、前記スパム・メッセージを特徴付けるデータを生成すること、
前記スパム・メッセージに類似する着信メッセージを探し出すのに後に使用される、前記スパム・メッセージを特徴付ける前記データを、サーバに転送することを含む方法を実行するようにさせる実行可能命令を含むコンピュータ可読媒体。

【請求項 10】

前記方法は、
前記スパム・メッセージを受信すると、雑音の存在に関して前記スパム・メッセージを評価すること、
前記スパム・メッセージのコンテンツを変更して、前記雑音を低減させることをさらに含む請求項 9 に記載のコンピュータ可読媒体。

【請求項 11】

雑音の前記存在に関して前記スパム・メッセージを評価することは、フォーマット・データ、数値文字参照、文字エンティティ参照、事前定義された URL データの少なくともいずれかを検出することを含む請求項 9 に記載のコンピュータ可読媒体。

【請求項 12】

電子メール・メッセージの中で、スパム・フィルタ処理を回避するように前記電子メール・メッセージに追加された雑音を示すデータを検出し、前記電子メール・メッセージのコンテンツを変更して、前記雑音を低減させるメッセージ・クリーニング・アルゴリズムと、
前記電子メール・メッセージの前記変更されたコンテンツをスパム・メッセージのコンテンツと比較する類似アイデンティファイアとを含むシステム。

【請求項 13】

前記電子メール・メッセージに追加された前記雑音を示す前記データは、フォーマット・データ、1 つまたは複数の数値文字参照、1 つまたは複数の文字エンティティ参照、事前定義されたカテゴリの URL データから成る前記グループから選択される請求項 12 に

記載のシステム。

【請求項 14】

前記メッセージ・クリーニング・アルゴリズムは、例外として適格でないフォーマット・データを前記電子メール・メッセージから抜き取ることによって、前記電子メール・メッセージの前記コンテンツを変更する請求項 13 に記載のシステム。

【請求項 15】

前記フォーマット・データは、前記フォーマット・データの例外が前記電子メール・メッセージの処理のために要求されるものとして適格である請求項 14 に記載のシステム。

【請求項 16】

前記メッセージ・クリーニング・アルゴリズムは、各数値文字参照と各文字エンティティ参照を、対応する ASCII 文字に変換すること、変換された数値文字参照と変換された文字エンティティ参照の少なくとも 1 つが、数値文字参照と文字エンティティ参照のいずれかを含むと判定すること、前記数値文字参照と前記文字エンティティ参照の前記いずれかを、対応する ASCII 文字に変換することによって、前記電子メール・メッセージの前記コンテンツを変更する請求項 13 に記載のシステム。

【請求項 17】

前記メッセージ・クリーニング・アルゴリズムは、URL 内の各数値文字と各文字エンティティ参照を、対応する ASCII 文字に変換することによって、前記電子メール・メッセージの前記コンテンツを変更する請求項 13 に記載のシステム。

【請求項 18】

前記メッセージ・クリーニング・アルゴリズムは、URL から、事前定義されたカテゴリの一意識別子データを除去することによって、前記電子メール・メッセージの前記コンテンツを変更する請求項 13 に記載のシステム。

【請求項 19】

前記メッセージ・クリーニング・アルゴリズムは、URL から、事前定義されたカテゴリのクエリ・データを除去することによって、前記電子メール・メッセージの前記コンテンツを変更する請求項 13 に記載のシステム。

【請求項 20】

前記類似アイデンティファイアは、前記電子メール・メッセージの前記変更されたコンテンツが、前記スパム・メッセージの前記コンテンツに類似しているかどうかを判定することによって、前記電子メール・メッセージの前記変更されたコンテンツを、前記スパム・メッセージの前記コンテンツと比較する請求項 12 に記載のシステム。

【請求項 21】

電子メール・メッセージの中で、スパム・フィルタ処理を回避するために前記電子メール・メッセージに追加された雑音を示すデータを検出するための手段と、

前記電子メール・メッセージのコンテンツを変更して、前記雑音を低減させるための手段と、

前記電子メール・メッセージの前記変更されたコンテンツを、スパム・メッセージのコンテンツと比較するための手段とを含む装置。

【請求項 22】

前記電子メール・メッセージに追加された前記雑音を示す前記データは、フォーマット・データ、1 つまたは複数の数値文字参照、1 つまたは複数の文字エンティティ参照、事前定義されたカテゴリの URL データから成る前記グループから選択される請求項 21 に記載の装置。

【請求項 23】

処理システム上で実行されると、前記処理システムが、

電子メール・メッセージの中で、スパム・フィルタ処理を回避するために前記電子メール・メッセージに追加された雑音を示すデータを検出すること、

前記電子メール・メッセージのコンテンツを変更して、前記雑音を低減させること、

前記電子メール・メッセージの前記変更されたコンテンツを、スパム・メッセージのコ

ンテンツと比較することを含む方法を実行するようにさせる実行可能命令を含むコンピュータ可読媒体。

【請求項 24】

前記電子メール・メッセージに追加された前記雑音を示す前記データは、フォーマット・データ、1つまたは複数の数値文字参照、1つまたは複数の文字エンティティ参照、事前定義されたカテゴリのURLデータから成る前記グループから選択される請求項23に記載のコンピュータ可読媒体。